

プラチナ四半期レポート プレゼンテーション 2020年第3四半期

於 ロンドン

2020年11月18日

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものであるその使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。当出版物のいかなる部分も出典の明記なしでいかなる形によっても転載あるいは配布することはできない。当出版物に掲載された2019年と2020年のメタルズフォーカス社によるリサーチおよび解説はメタルズフォーカス社が著作権を有するものである。当出版物に掲載されたデータおよび解説の中の全ての著作権およびその他の知的財産権はメタルズフォーカス社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。メタルズフォーカス社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのメタルズフォーカス社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もメタルズフォーカス社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物に掲載された2013年から2018年のSFA社によるリサーチはSFA社が著作権を有するものである。当出版物に掲載された2013年から2018年のデータの全ての著作権およびその他の知的財産権はSFA社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。SFA社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのSFA社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もSFA社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者およびコンテンツ提供者は、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者、コンテンツ提供者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者とコンテンツ提供者が、情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者とメタルズフォーカス社は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者とコンテンツ提供者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない。発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われたい。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供され、英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

議題: プラチナ四半期レポート

2020年第3四半期、2020年最新予測、2021年予測

1. 初めに

CEO ポール・ウィルソン

2. プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー

トレバー・レイモンド

3. ファンダメンタルズの基盤

トレバー・レイモンド

4. 質疑応答

ポール・ウィルソン

トレバー・レイモンド



議題: プラチナ四半期レポート 2020年第3四半期、2020年最新予測、2021年予測

1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー

需給バランス: 今期, 2020年最新予測、2021年予測

リサーチ・ディレクター トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤

トレバー・レイモンド

4.質疑応答

ポール・ウィルソン

トレバー・レイモンド



2020年第3四半期の供給: 総供給量 5% 減 ACP 事故、新型コロナが鉱山生産とリサイクルに打撃

SUPPLY

Q3 2019 // Q2 2020 Q3 2020

Refined Production

	1,530	938	1,493
South Africa	1,122	514	1,056
Zimbabwe	116	117	121
North America	79	87	70
Russia	174	176	200
Other	40	44	46
Inc(-)/Dec(+) in Producer Inventory	-30	+34	-58

Total Mining Supply 1,501 972 1,435

Recycling

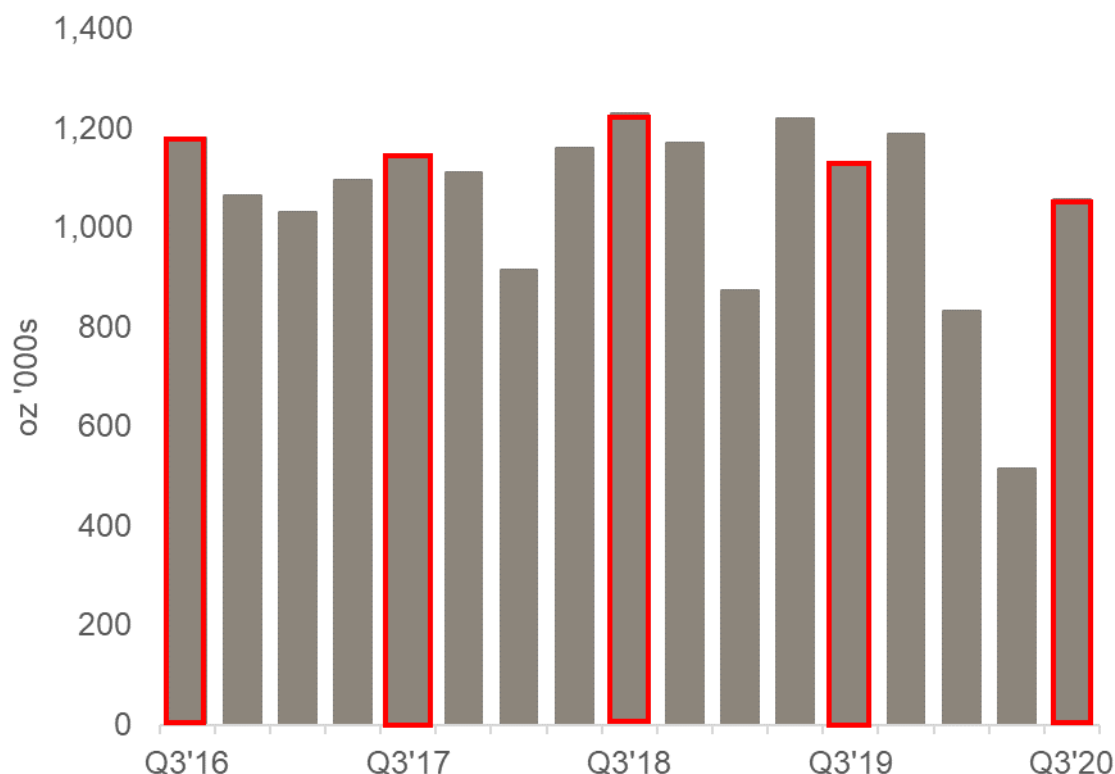
	540	419	505
Autocatalyst	410	309	378
Jewellery	116	97	113
Industrial	14	13	14

Total Supply 2,041 1,391 1,940

- 南アの鉱山供給
前年比 6% 減 (-2.1トン)
転炉事故と新型コロナの影響続く
- 北米の鉱山供給
10% 減 (-0.2トン)
新型コロナ対策
- その他の地域は増産:
– ジンバブエ + 4% (+0.2 トン)
– ロシア + 15% (+0.8トン)
- リサイクル供給 6% 減(-1.1トン)
– 浄化触媒装置 - 8% (-1.0トン)
– 宝飾品 - 3% (-0.1トン)
- 今期の総供給量
前年比 5%減 (-3.1トン)
前期比39%増(+17.1トン)

2020年第3四半期の南ア鉱山供給: 前年比マイナス 6% 新型コロナ問題、転炉事故問題の解消で前期比 105% 増

南アフリカの精錬プラチナ鉱山生産 (koz)



Refined production

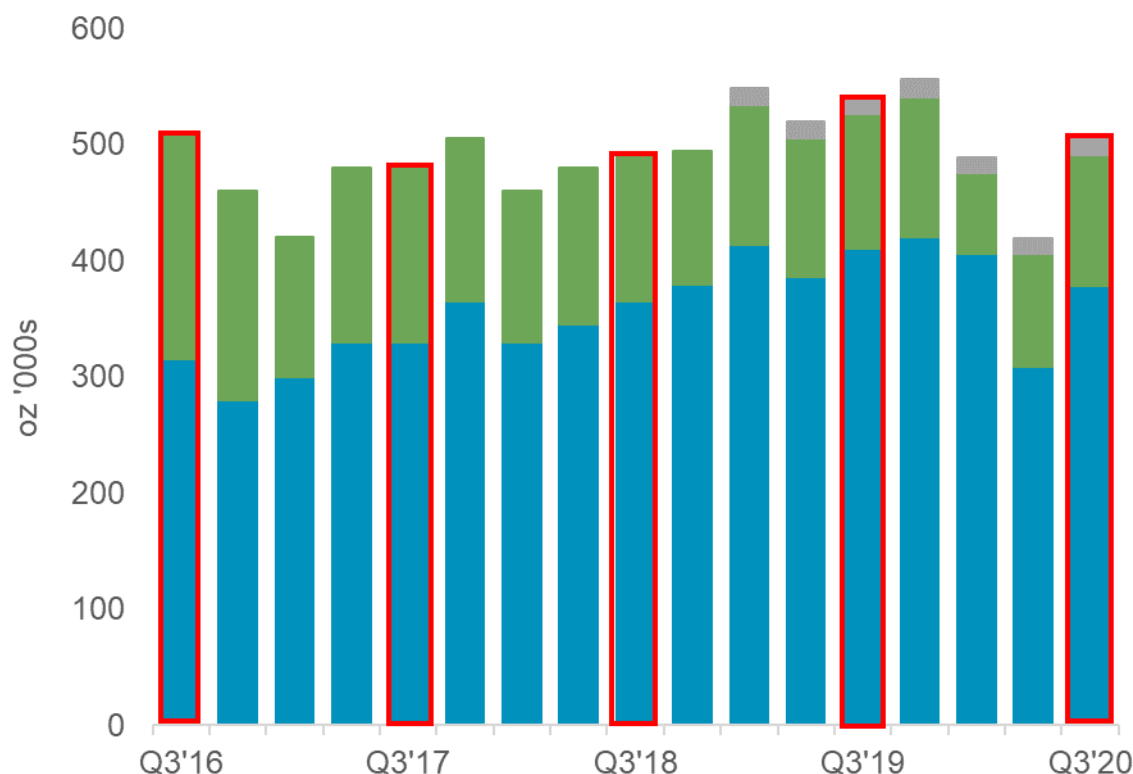
Q3 production

Q3

- 南ア 今期生産量
前年比6% 減 (-2.1トン)で32.8トン
- 前期比105% 増(+16.8トン)
 - ロックダウンは6月で終了
 - ACP Phase B 転炉の操業再開

2020年第3四半期のリサイクル供給: 前年比マイナス 6%、 前期比 21% 増はストック分リサイクルと宝飾品販売から

リサイクル供給 (koz)



自動車触媒

宝飾品

工業部品

Q3

- 今期のリサイクル供給
前年比6% 減(-1.1トン) で15.7トン
前期比21%増(+2.7トン)
- 浄化触媒装置リサイクル
前年比8% 減(-1.0トン)
前期比22% 増(+2.1トン)
2019年と2020年のストック分のリサイクル
- 宝飾品リサイクル
前年比3% 減(-0.1トン)
販売回復で16%増 (+0.5トン)
特に中国
- 工業部品リサイクル (電子材スクラップ含む)
前年とほぼ変わらず (0.03トン)

2020年第3四半期の需要: 自動車、宝飾品、工業の回復 投資は高騰

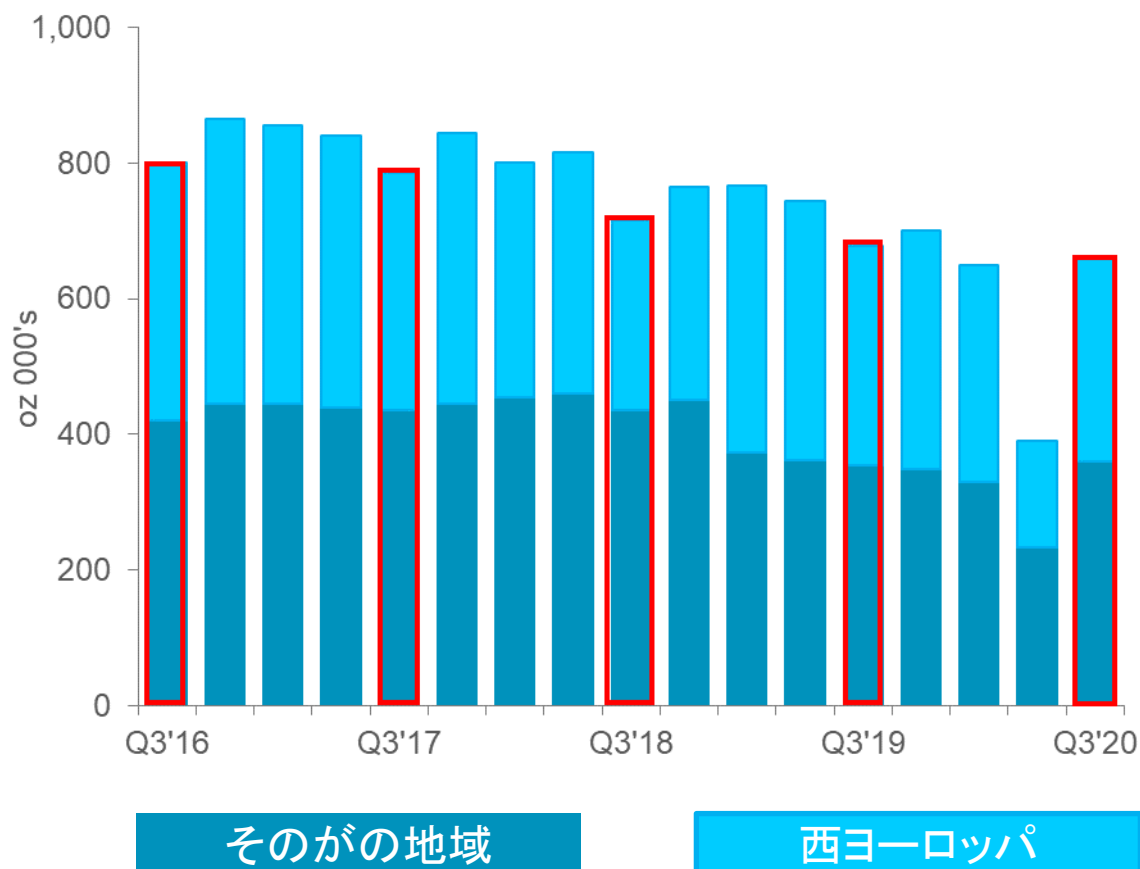
DEMAND		Q3 2019 // Q2 2020	Q3 2020
Automotive		678	389
	Autocatalyst	678	389
	Non-road	†	†
Jewellery		515	393
Industrial		563	352
	Chemical	163	114
	Petroleum	55	20
	Electrical	38	29
	Glass	102	26
	Medical & Biomedical	62	59
	Other	143	104
Investment		251	381
	Change in Bars, Coins	54	120
	Change in ETF Holdings	207	122
	Change in Stocks Held by Exchanges	-10	138
Total Demand		2,006	1,515
Balance		35	-124

今期の需要変化(前年比):

- 自動車 3% 減(-0.5トン)
- 宝飾品 3% 減(-0.5トン)
- 工業 10% 減(-1.7トン)
- 投資 291% 増(+22.7トン)
 - ー インゴットとコイン 78% 増(+1.3トン)
 - ー ETF 163% 増(+10.5トン)
 - ー 取引所保有在庫 (+10.9トン) 増
- 市場の不足 -22.1トン

2020年第3四半期の自動車需要: 前年比マイナス 3%、生産と販売の回復で前期比 70% 増

自動車需要 (koz)

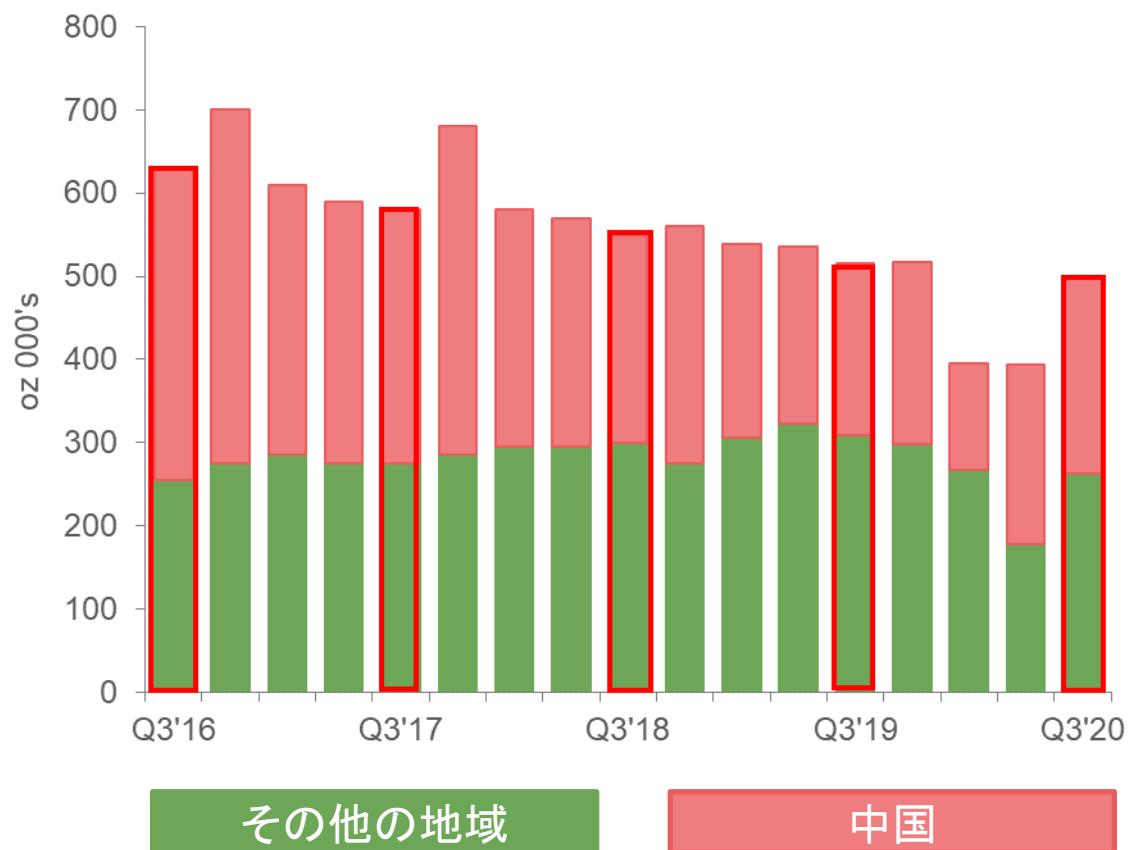


- 自動車需要
前年比3%減 (-0.5トン)
前期比 70% 増 (+8.4トン)
- 今期の欧州ディーゼル車販売
前年比15% 減
前期比 59% 増
ディーゼル・マイルドハイブリッド車販売好調
- ディーゼル車
自動車メーカーの排ガス規制違反金軽減にとって依然、重要なカギ

第3四半期

2020年第3四半期の宝飾品需要: 前年比マイナス3%、 前期比 27% 増 ゴールドに比べ大幅な割安

宝飾品需要 (koz)

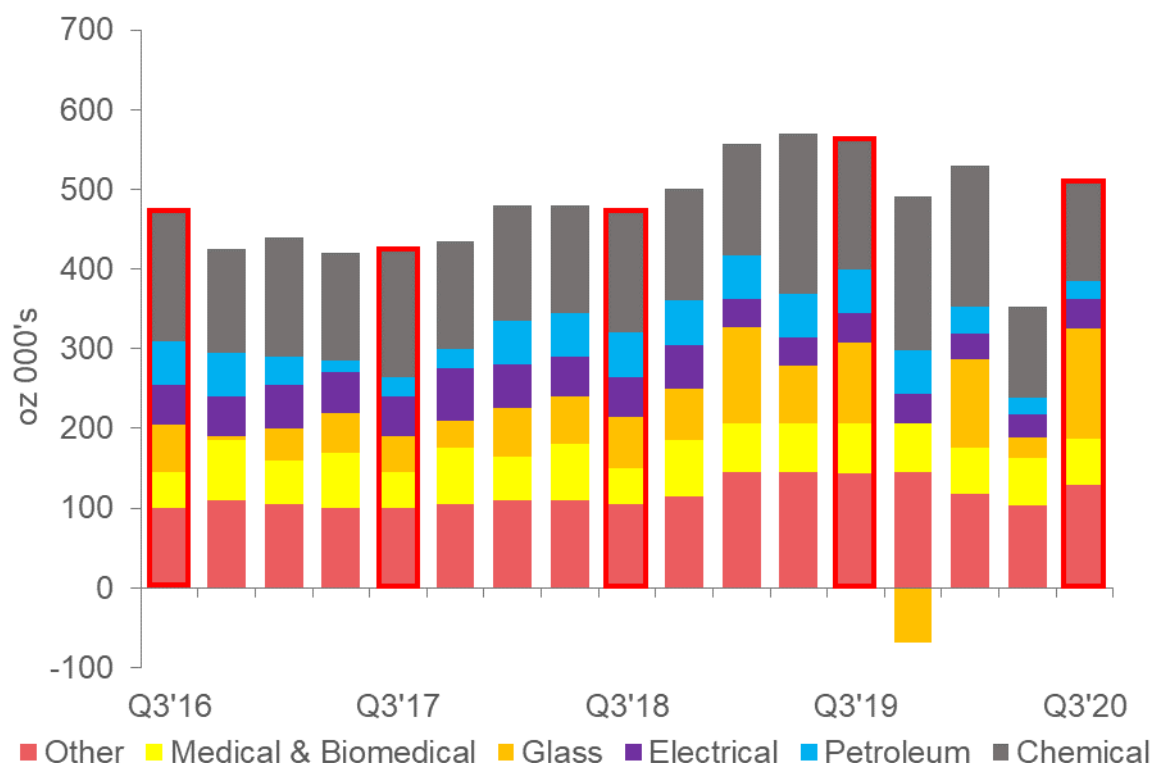


- 宝飾品
前年比僅か3%減 (-0.5トン)
前期比 27% 増 (+3.3トン) で15.5トン
- 前期より大幅な回復で利幅増:
 - 日本 63%増(+1.1トン)
 - 西欧 84%増(+0.8トン)
 - 北米 36%増(+0.5トン)
- 中国の需要
前年比14% 増、前期比10% 増
プラチナ宝飾品の利幅拡大と新たな軽量デザインの販売開始

第3四半期

2020年第3四半期の工業需要: 前年比マイナス10%、 前期比 45% 増、強いガラス需要

分野別工業需要 (koz)

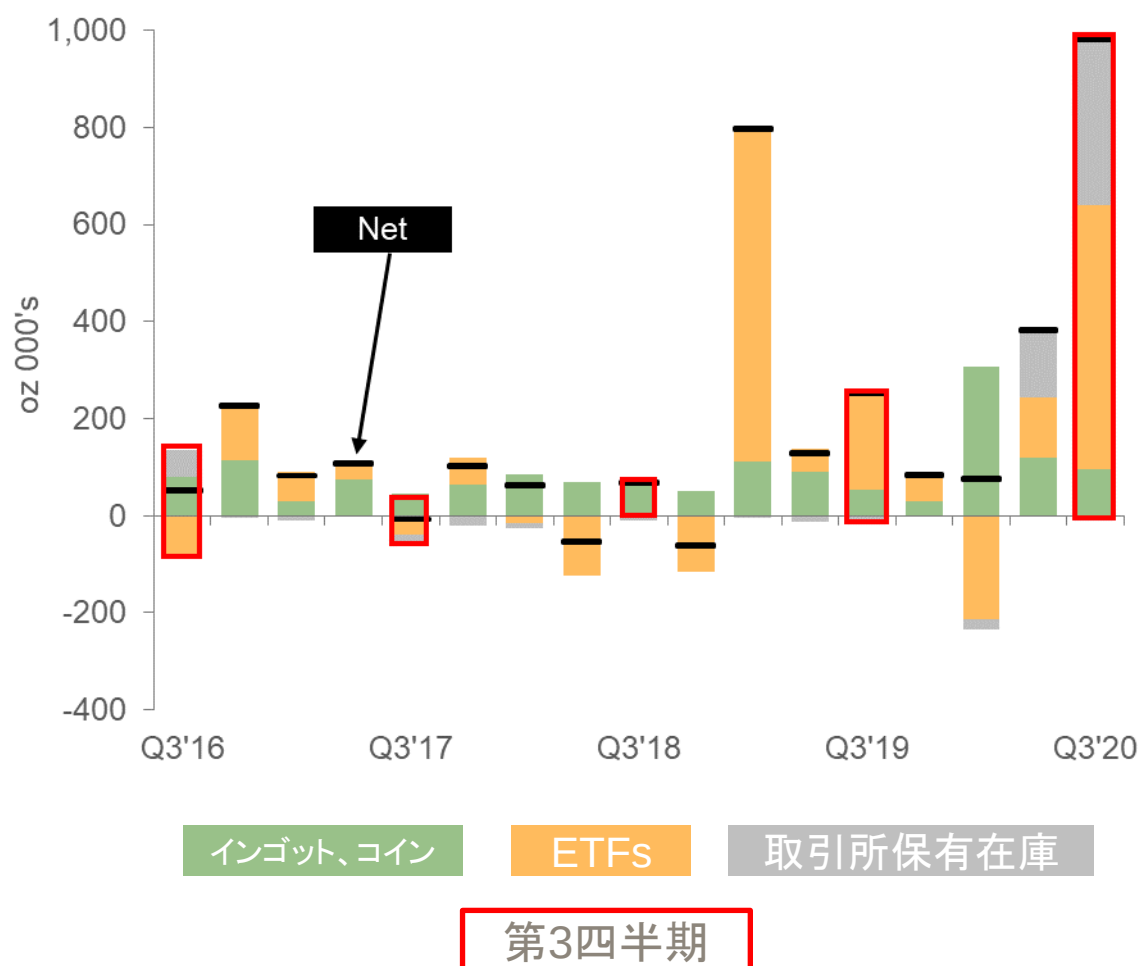


第3四半期

- 工業需要
前年比10% 減(-1.7トン)
前期比 45% 増(+4.9トン)
- ガラス需要
前年比36%増 (+1.1トン)
生産能力拡大
- 化学需要 前年比24%減 (-1.2トン)
中国の石油化学産業成長の鈍化
- 石油需要 前年比 58% 減(-1.0トン)
製油所稼働率の低下

2020年第3四半期の投資需要: 米ETF保有量とNYMEX保有在庫の大幅増

分野別投資需要 (koz)



- 投資需要
前年比291% 増(+22.7トン) で30.5トン
- インゴットとコイン需要
前年比 78%増 (+1.3トン) で 3.0トン –
米国で強い需要
- ETF
前年比163% 増(+10.5トン)
米投資家の強い需要とゴールド、水素関連
の要因で
- 取引所在庫 (主にNYMEX)
10.6トンに増加、マーケットメイカー各銀活
発に

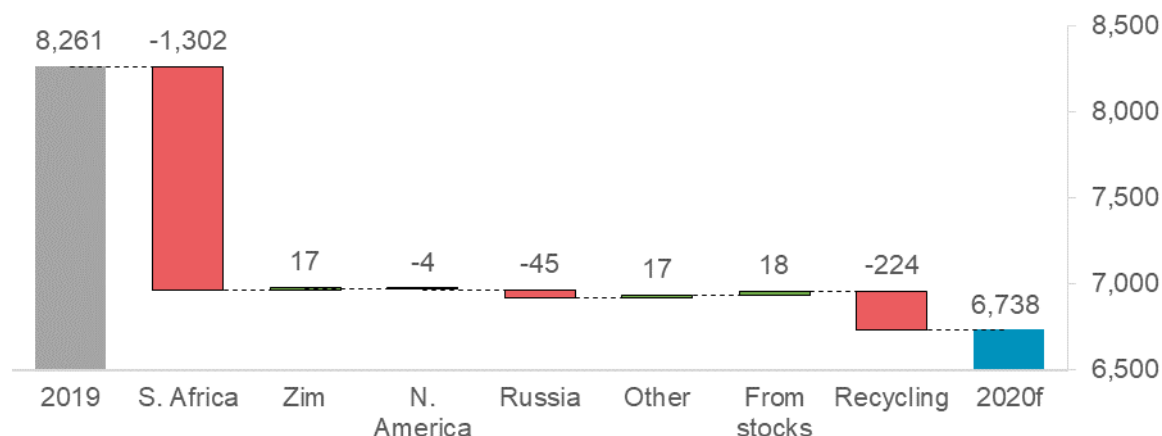
2020年全体：品不足の増加 (-37.4トン) 供給減と過去最高の投資需要で

SUPPLY		2019	2020f	YoY, oz	YoY, %
Refined Production		6,094	4,777	-1,318	-22%
	South Africa	4,402	3,100	-1,302	-30%
	Zimbabwe	455	472	17	4%
	North America	356	352	-4	-1%
	Russia	716	672	-45	-6%
	Other	164	181	17	10%
Inc (-)/Dec (+) in Producer Inventory		+2	+20	18	749%
Total Mining Supply		6,097	4,797	-1,300	-21%
Recycling		2,165	1,941	-224	-10%
	Autocatalyst	1,630	1,486	-144	-9%
	Jewellery	477	398	-78	-16%
	Industrial	58	57	-1	-3%
Total Supply		8,261	6,738	-1,524	-18%
DEMAND					
	Automotive	2,885	2,421	-464	-16%
	Jewellery	2,100	1,826	-274	-13%
	Industrial	2,112	2,033	-79	-4%
	Investment	1,253	1,659	406	32%
Total Demand		8,350	7,940	-410	-5%
Balance		-89	-1,202	-	N/A
Above Ground Stocks		3,561	2,360	-1,202	-34%

- 南ア供給
前年比30%減 (-40.5トン) で 96.4トン
- 総供給量
前年比18%減 (-47.4トン)で 209.6トン
- 自動車需要 前年比16% 減(-14.4トン) 中国の需要は大型車販売増と浄化触媒装置のプラチナ使用量増で 41% 増
- 投資需要 前年比32% 増(+12.6トン)
好調な ETF とインゴット、コインの需要
- 総需要量 前年比5%減 (-12.8トン) で 247.0トン
- 今年の実質的不足は新型コロナの影響にもかかわらず (-37.4トン)

2020年予測: 総供給 マイナス18% 総需要 マイナス 5%

2019年から2020年(予測)の年間総供給量の変化(koz)



- 総供給量予測は18% 減(-47.4トン)
- 南ア鉱山供給 30% 減(-40.5トン)
転炉事故と鉱山閉鎖
- 触媒装置リサイクル 10%減 (-7.0トン)
新型コロナで流通に遅れ、欧米で回収と加工に支障

2019 年から2020年(予測)の年間総需要量の変化 (koz)



- 総需要予測は 5% 減(-12.8トン)
ー 投資需要のみが上向き
- 投資需要は既に多かった2019年のベースより 32% 増(+12.6トン) で 38.9トン
- 高い予測リスクー ワクチンの可能性の中での新型コロナの第二波

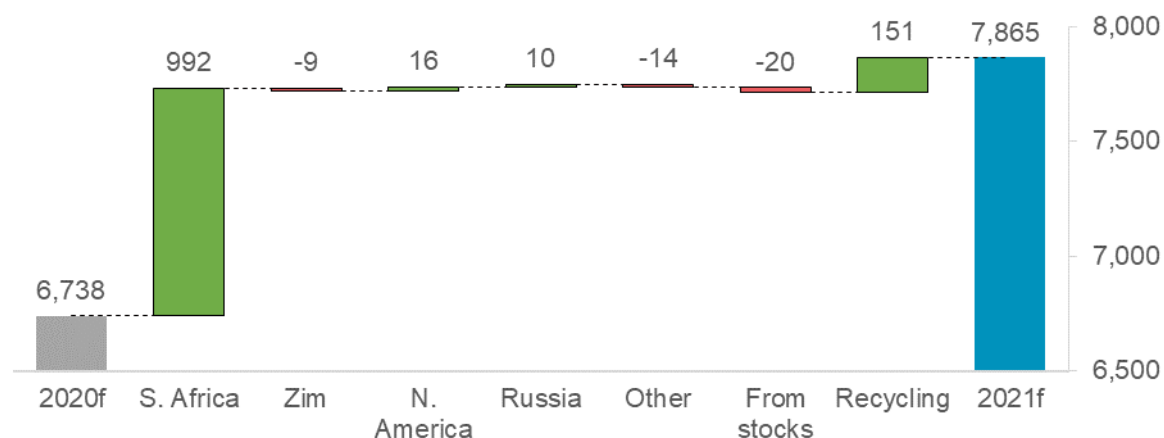
2021年予測：需給回復するも、3年連続で供給不足、7.0トン

SUPPLY		2020f	2021f	YoY, oz	YoY, %
Refined Production		4,777	5,772	996	21%
	South Africa	3,100	4,092	992	32%
	Zimbabwe	472	463	-9	-2%
	North America	352	369	16	5%
	Russia	672	682	10	2%
	Other	181	167	-14	-8%
Inc (-)/Dec (+) in Producer Inventory		+20	+0	-20	-100%
Total Mining Supply		4,797	5,772	976	20%
Recycling		1,941	2,093	151	8%
	Autocatalyst	1,486	1,573	87	6%
	Jewellery	398	462	64	16%
	Industrial	57	57	1	1%
Total Supply		6,738	7,865	1,127	17%
DEMAND					
	Automotive	2,421	2,996	575	24%
	Jewellery	1,826	2,072	246	13%
	Industrial	2,033	2,276	243	12%
	Investment	1,659	745	-914	-55%
Total Demand		7,940	8,089	150	2%
Balance		-1,202	-224	-	-81%
Above Ground Stocks		2,360	2,135	-224	-10%

- 精錬プラチナ生産
21% (+30.9トン)回復するが、新型コロナ以前のレベル以下
- リサイクル供給
8% (+4.7トン) 増えて 65.1トンに、宝飾品販売の増加で宝飾品リサイクル好調
- 自動車需要
欧州のディーゼル車販売と、中国の大型車販売とパラジウム代替に支えられて 24%増 (+17.9トン)
- 投資需要
55%減、しかし利得発生の可能性
- 供給回復するも2021年の市場は (-7.0トン) 供給不足

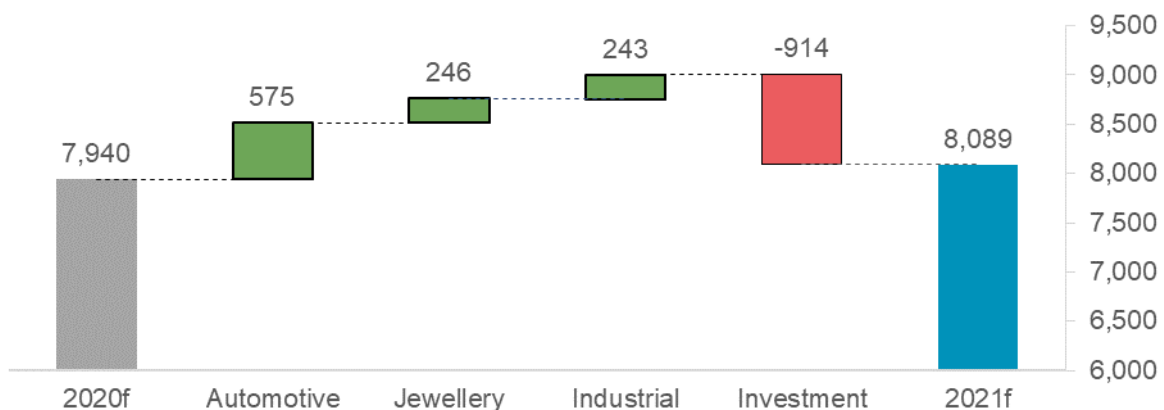
2021年予測：総供給14%増、総需要 2%増

2020年から2021年の年間総供給量の変化予測 (koz)



- 南ア鉱山供給 32% 増(+30.9トン)
新型コロナによる中断なく、ACP 転炉も1月には復調
- リサイクル供給 8%増 (+4.7トン)
宝飾品リサイクルは 16% 増(+2.0トン)

2020年から2021年の年間総需要量の変化予測(koz)



- 自動車需要はディーゼル車市場とパラジウム代替が進んで、2019年レベルを超え24%増 (+17.9トン)で 93.2トン
- 投資需要は過去最高だった2020 年から 55%減 (-28.4トン)、しかし 23.2トンで堅調

議題: プラチナ四半期レポート 2020年第3四半期、2020年最新予測、2021年予測

1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2. プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー

トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤

- 宝飾品需要、回復の兆し
- 堅調な自動車需要の展望
- 記録的投資需要レベルの維持

リサーチ・ディレクター トレバー・レイモンド

4.質疑応答

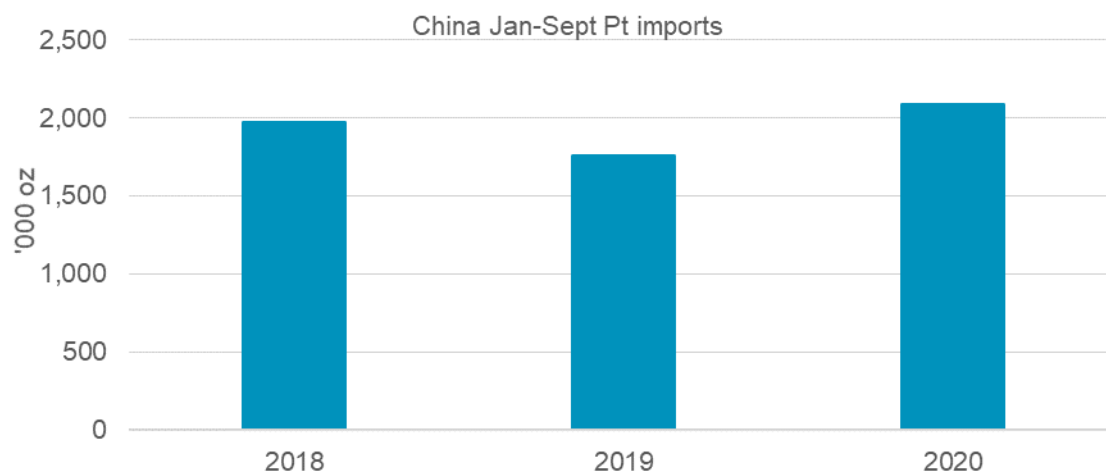
ポール・ウィルソン

トレバー・レイモンド



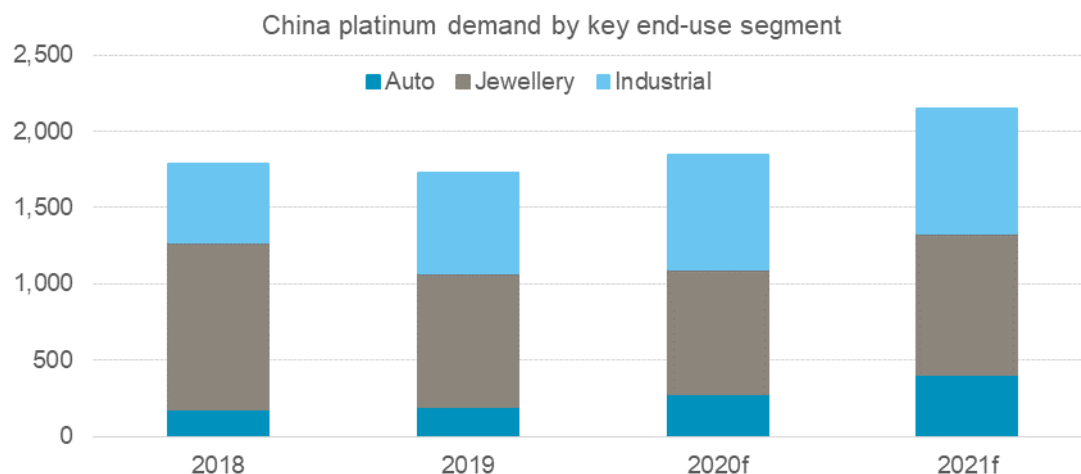
中国のプラチナ輸入 安値と不足を受けて2020年初から 19% 増 – 2021年へ宝飾品に恩恵

年初からの中国のプラチナ輸入 前年比19%の急増 (koz)



- 中国のプラチナ輸入 年初から 65.3トン
- 中国の輸入増の背景:
 - 2020 年第2四半期の予期せぬ価格下落
 - 南ア供給減と供給経路中断による品不足への懸念
 - ロックダウン解除後の製造業回復

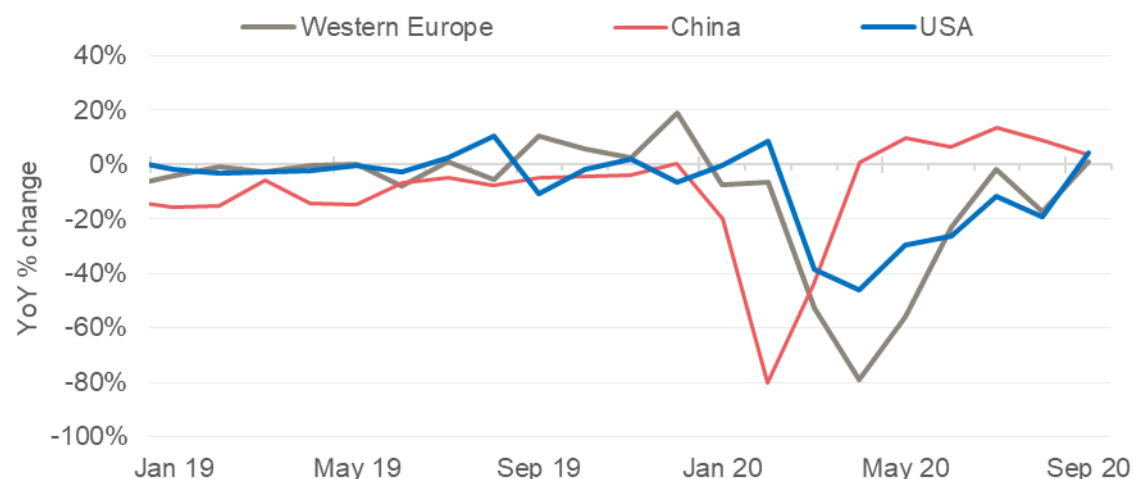
中国の年間輸入の背景に需要増 (koz)



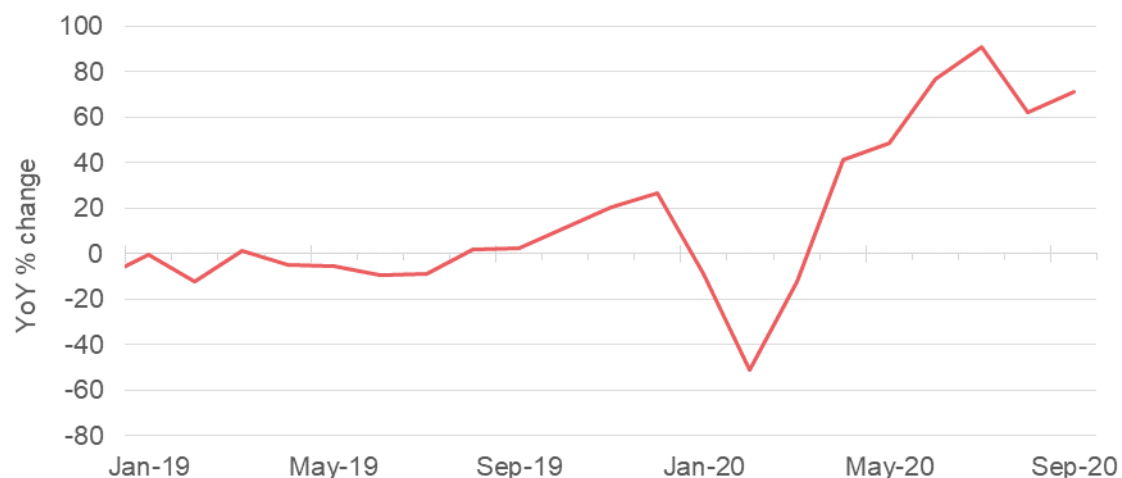
- 2021年の中国の需要予測はさらなる輸入増の背景に

第3四半期末までに主要自動車市場の生産と販売は 新型コロナ以前のレベルに回復

普通乗用車販売は新型コロナ以前のレベルに回復



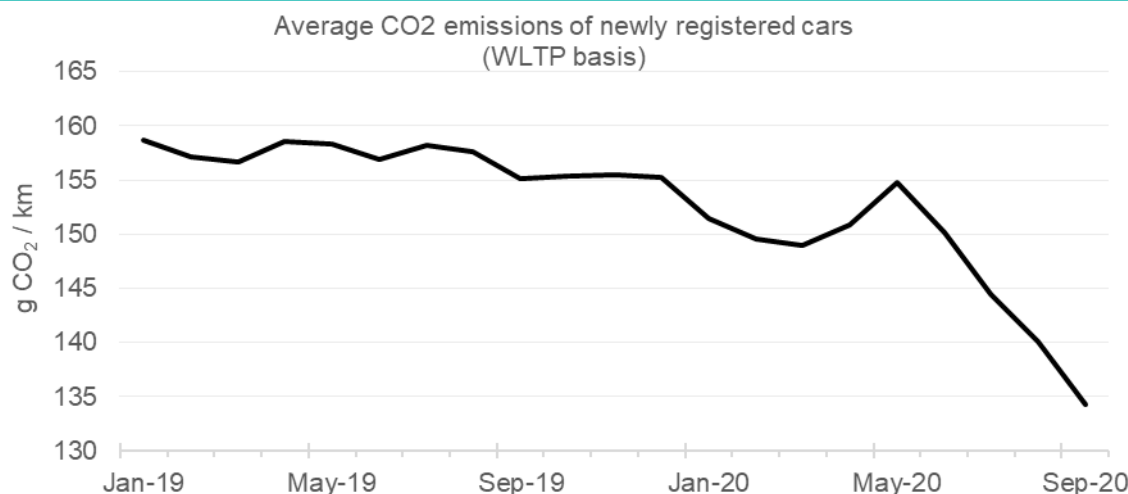
中国の大型車生産、2020年に急増



- 世界の自動車市場は新型コロナに影響された第1、第2四半期より回復
- 年初から9月までの世界の普通乗用車販売は19.6%減にとどまり、懸念されていたほどの下落はみられない
- 今期の自動車のプラチナ需要は前年比僅か3%減
- 世界最大の大型車市場である中国の大型車生産は年初より33%の急増
- 中国の国VI規制対応で触媒装置のプラチナ需要が2020年と2021年に増加

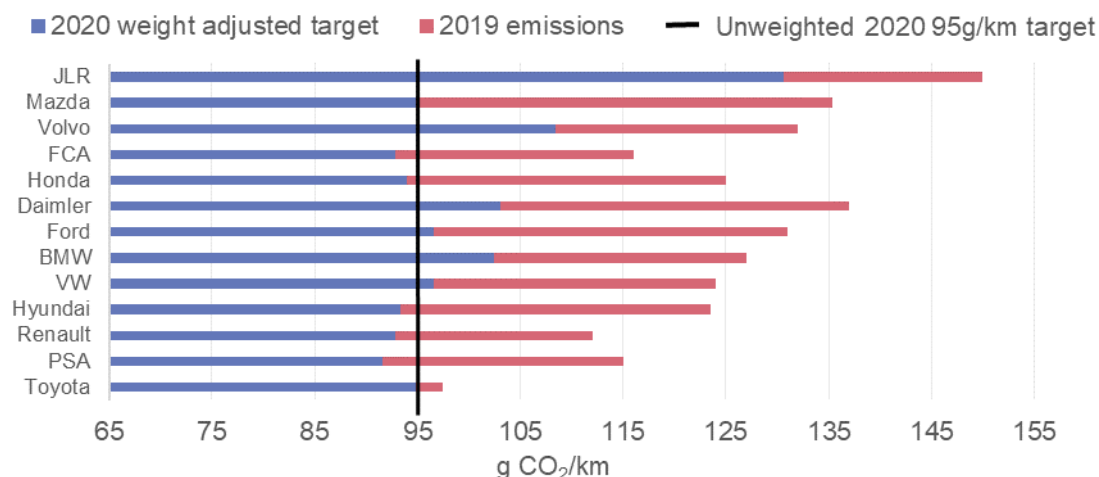
欧州自動車メーカーのディーゼル車販売促進、プラチナ需要増の後押し

ドイツの平均 CO₂ 排出量、2020年に低下



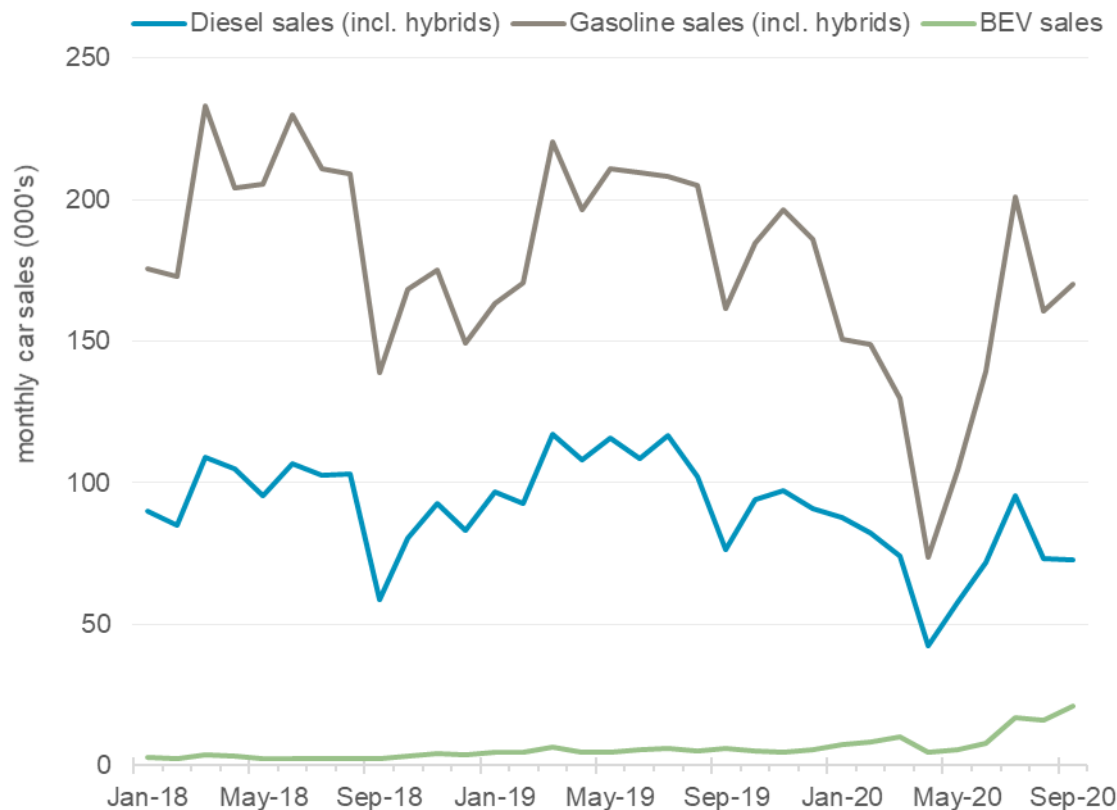
- ドイツではマイルドハイブリッド車、プラグインハイブリッド車販売の急増で、2020年の車両1台あたりの平均 CO₂ 排出量が急減
- 高額な年間排ガス規制違反金の回避、軽減は自動車メーカーがディーゼル車販売に力をいれる大きな理由
- 予定される排ガス規制値の厳格化（2025年に15%削減、2030年に37.5%削減）でさらに販売強化へ
- 欧州主要自動車メーカー13社の2019年の過剰CO₂ 排出量 – 26 g/km – が2020年に改善されなければ、約270億ユーロの罰金が2021年に課せられるリスク

主要委託製造13社の2019年平均 CO₂ 排出量は26 g/km 過剰



欧州の主要市場で新型コロナが自動車販売に与えた打撃 ディーゼル車はガソリン車よりも緩やか

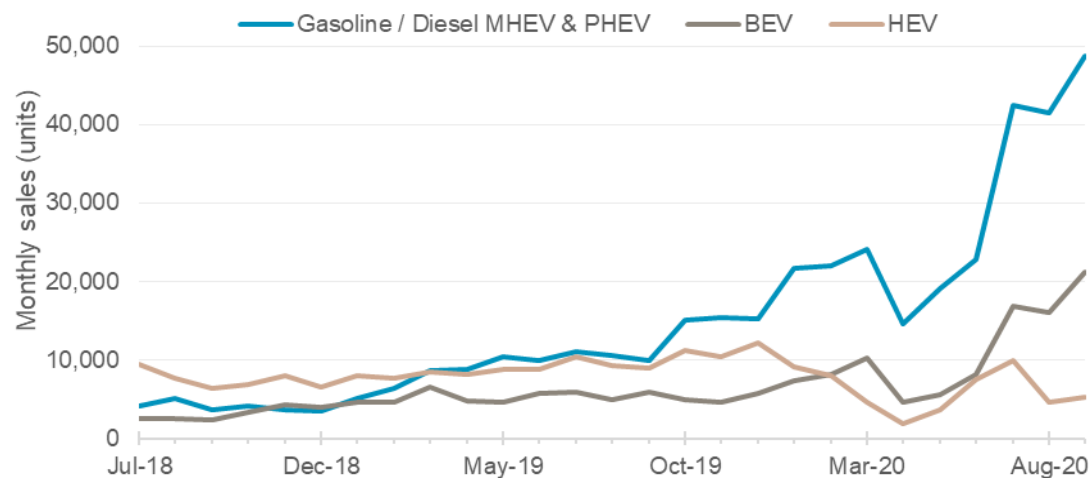
新型コロナの打撃、ドイツのディーゼル車販売の減少はガソリン車よりも少ない



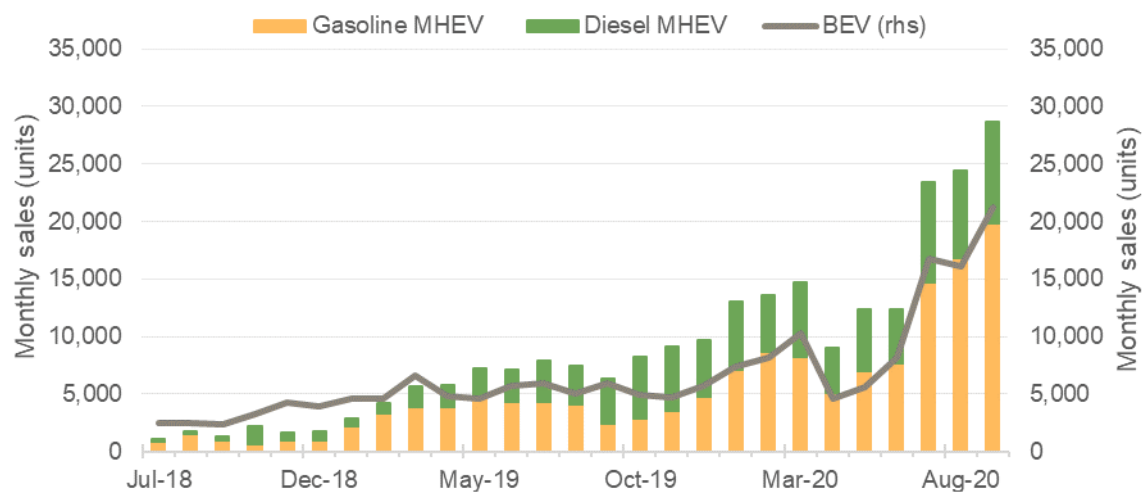
- ドイツのディーゼル車、ディーゼルハイブリッド車販売、2019年12月から52%減少し、2020年3月に最低
- 12月から3月のガソリン車販売はそれを上回る60%の減少
- 新しいマイルドハイブリッド車、プラグインハイブリッド車モデルの販売がディーゼル車販売を底上げ
- アウディ社、BMW社、メルセデス社、ディーゼルハイブリッド車モデルを増強

BEV、PHEV 中心の欧州の支援策の中、ハイブリッド車販売はBEVを上回る

ハイブリッド車、手厚い補助金制度があるバッテリー電気自動車を上回る



プラグインハイブリッド車、バッテリー・マイルドハイブリッド車を上回る

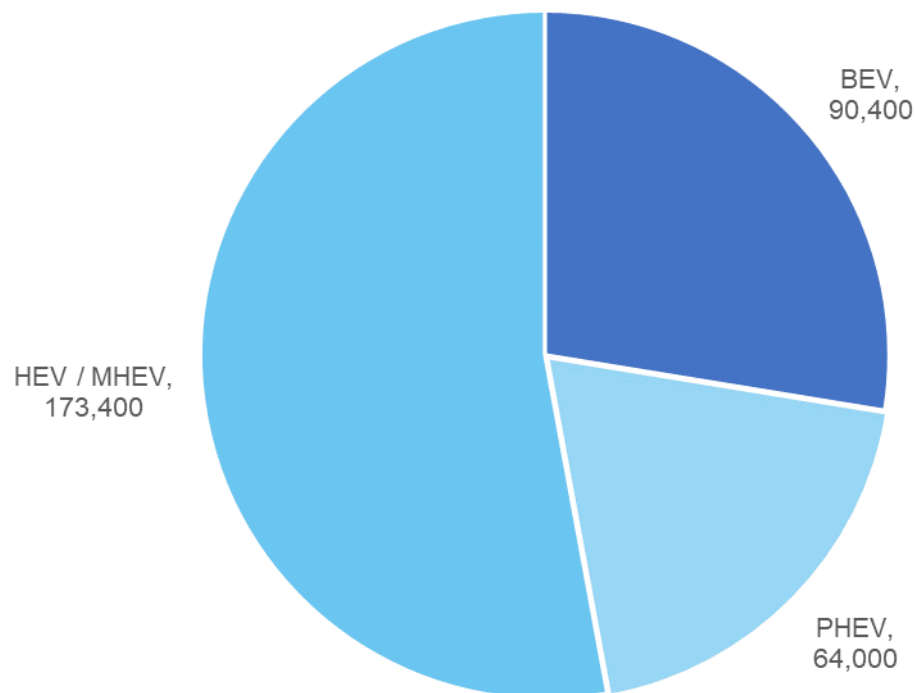


- ドイツの電気自動車の補助金額、6月に2倍に、2021年末まで
- バッテリー電気自動車、4万ユーロまで9,000ユーロの補助金
- プラグインハイブリッド車、4万ユーロまで6,750ユーロの補助金
- プラグインハイブリッド車の販売、バッテリー電気自動車に迫る
- 補助金制度のないマイルドハイブリッド車、バッテリー電気自動車の売り上げに3対2の割合で競り勝つ
- ハイブリッド車、メーカー各社の車両CO₂ 排出量削減のカギ握る

欧州で好調な電気自動車販売 – 実はガソリンエンジンとのハイブリッド車が主流

欧州の電気自動車販売、ハイブリッド車が独占

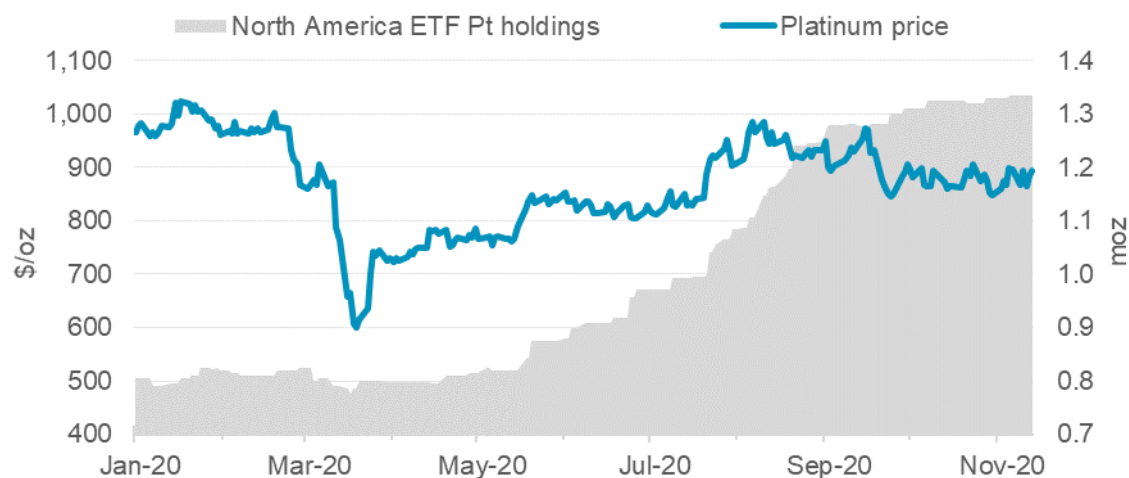
Sept 2020 'EV' sales - 327,800



- 2020年9月の電気自動車販売の73% はハイブリッド車
- JATO のデータ、バッテリー電気自動車販売高前年比 3% から 7% 増加を把握、しかし見出しは電気自動車前年比25%増加と
- 2020年9月のプラグイン、ハイブリッド、マイルドハイブリッド車販売は欧州の乗用車販売の18%、前年の7% から増加

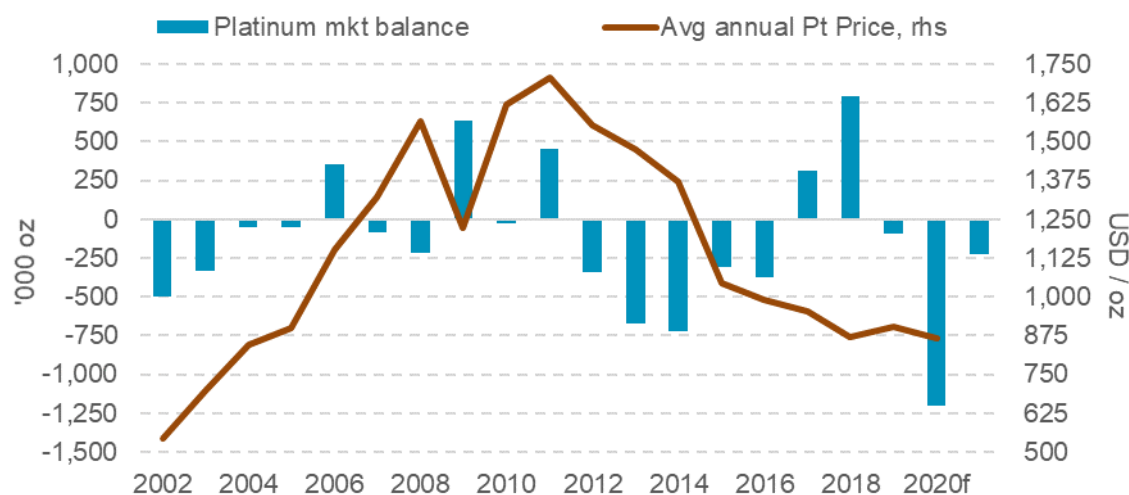
プラチナの投資需要リスクはゴールド、供給、パラジウム、水素で上昇リスクの可能性

米国ETF、3月のプラチナ底値から17.4トン増加



- 世界のプラチナ ETF 保有量は、プラチナの安値、ゴールドの高値、水素経済への貢献度を背景に、5月の底値から20.5トン*増加して115.1トンに

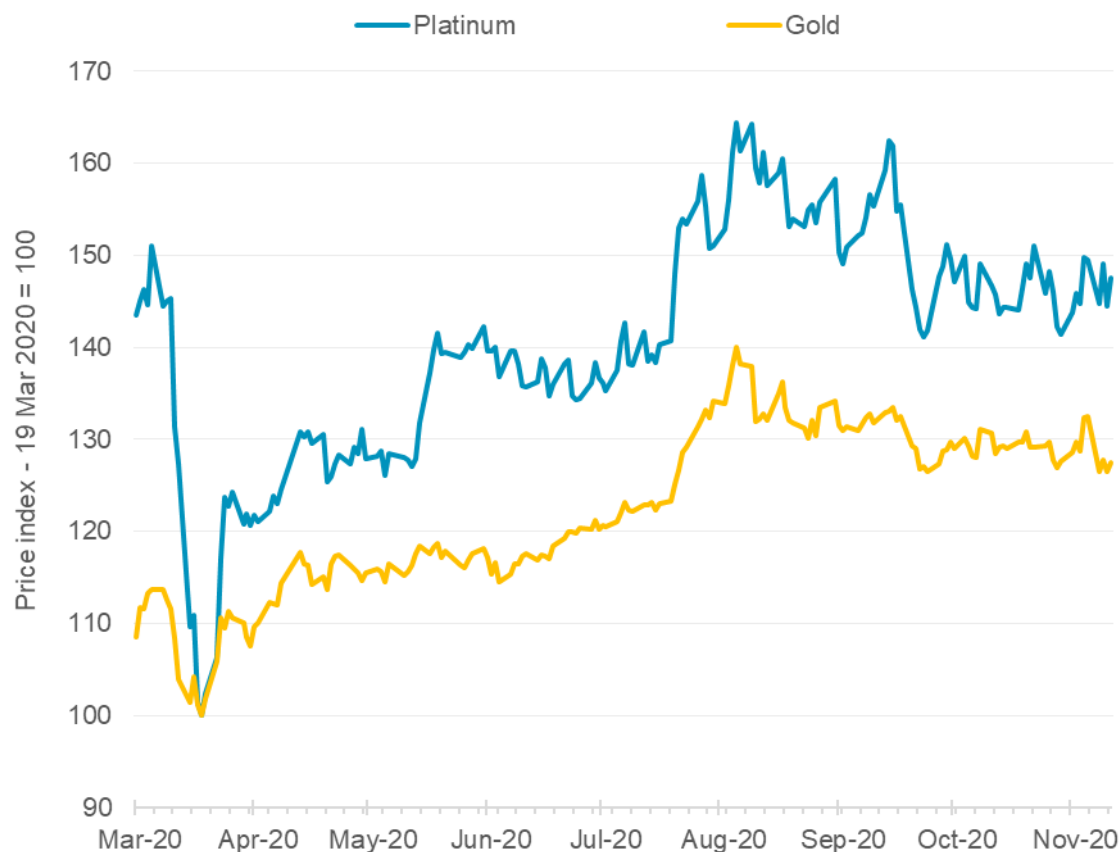
投資需要がプラチナ市場の供不足を促す



- 制限ある供給と強い潜在的需要のおかげで今後の成長と幅広い投資家を呼び込む

2020年3月19日の底値からプラチナ はゴールドのパフォーマンスを上回る

プラチナとゴールド価格インデックス (19.03.20 = 100)



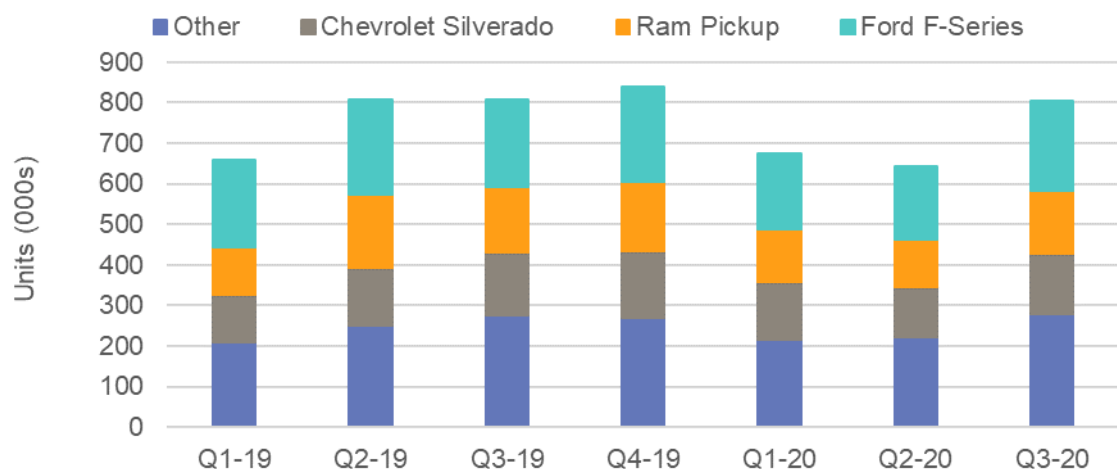
- 2020年3月19日の底値以来:
 - 8月末までの上昇率、プラチナは55%、ゴールドは 33%
 - 11月中旬までの上昇率、プラチナは47%、ゴールドは28%
- 依然高いグローバルリスク、貴金属投資への資金流入の要因に
- 2008年の金融危機から2010年まで、プラチナの週間リターンはゴールドのそれを 30%から65%上回った – 新型コロナワクチンの開発が2021年にもその再来を可能に

好調な自動車販売と中国の国6排ガス規制、パラジウム需要押し上げ パラジウムの高値がプラチナとの代替を促進

パラジウムより割安なプラチナ、代替への大きな誘因に



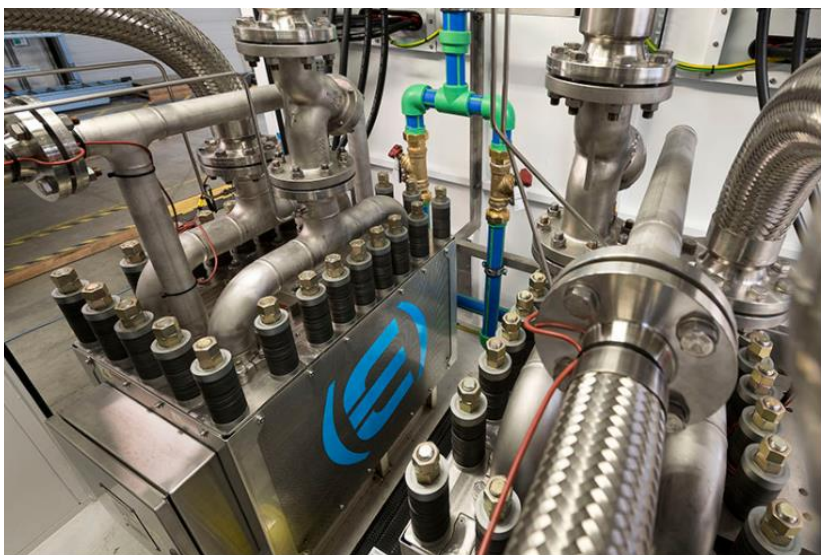
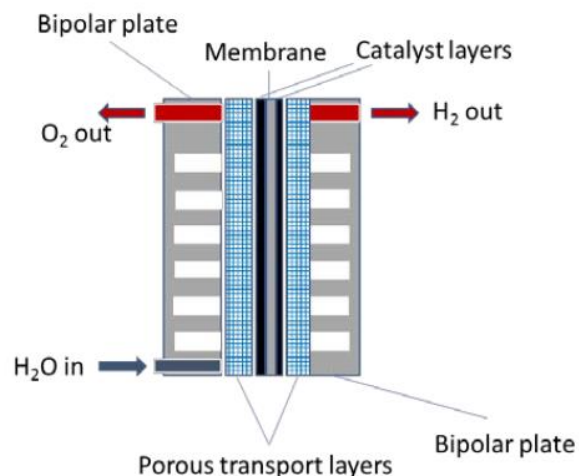
米ピックアップトラック販売の回復、2020年は300万台に



- パラジウムの対プラチナプレミアムは2020年初より平均 1,300ドル/oz (2019年は675ドル/oz)
- 2020年の自動車メーカー各社の利益は新型コロナによる損害と販売高減で大幅にダウン – さらに代替を促す要因に
- 米ピックアップトラック市場で40%が代替されれば1台につき172ドルの節約、大きな金銭的恩恵
- ピックアップトラック市場だけでも40% が代替されれば5億ドルの節約に

グリーン水素と燃料電池自動車にプラチナの果たす重要な役割 – 投資家を呼び込む要因に

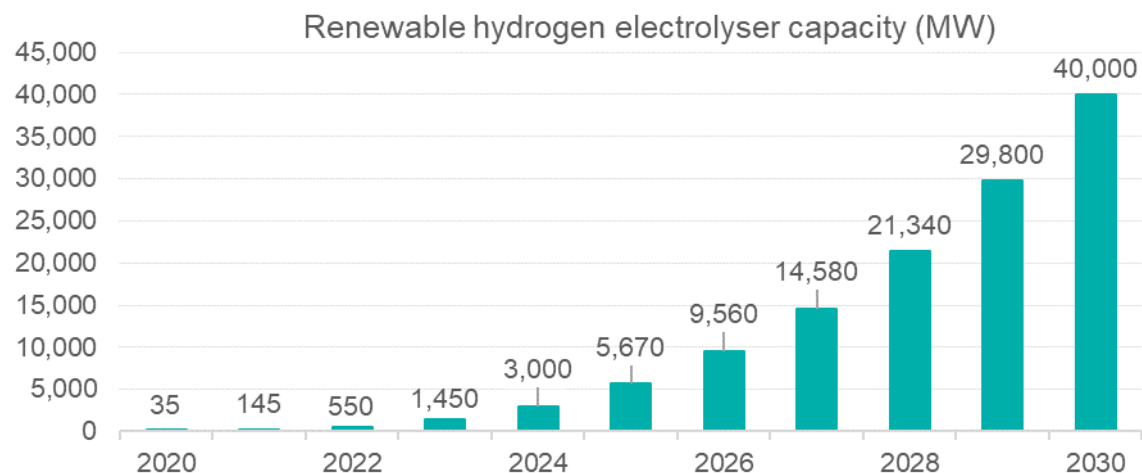
プロトン交換膜電解装置の電極に使われるプラチナ



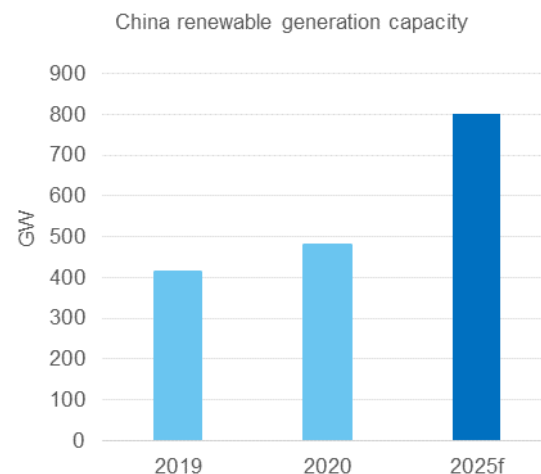
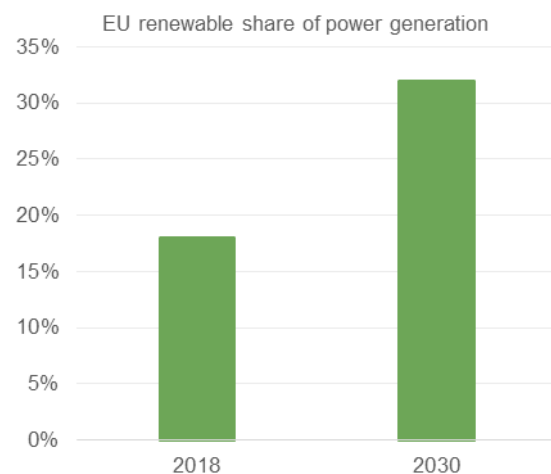
- 再生可能な動力源からグリーン水素を生産するにはプロトン交換膜 (PEM) 電解装置が有利
- PEM電解装置ではプラチナがカソードに、酸化イリジウム・酸化ルテニウムがアノードに使われる
- ヘレウス社の革新的技術、イリジウムを90% 節約 - 希少なイリジウムがPEM電解装置の普及のネックとならない
 - ジョンソン・マッセイ社、PEM電解装置は全体の30%から60%にとどまる予測
 - 技術革新でシェアが増えるか
- 欧州 (40 GW)、中国 (30 GW) のグリーン水素生産目標のうち60%がPEM電解装置になれば2030年までに18.7トンのプラチナが必要に

水素経済 – コロナ禍が到来を加速 – より多くの国がカーボンニュートラルを目標に

EU の 40 GW 電解装置目標達成には約10.9トンのプラチナが必要



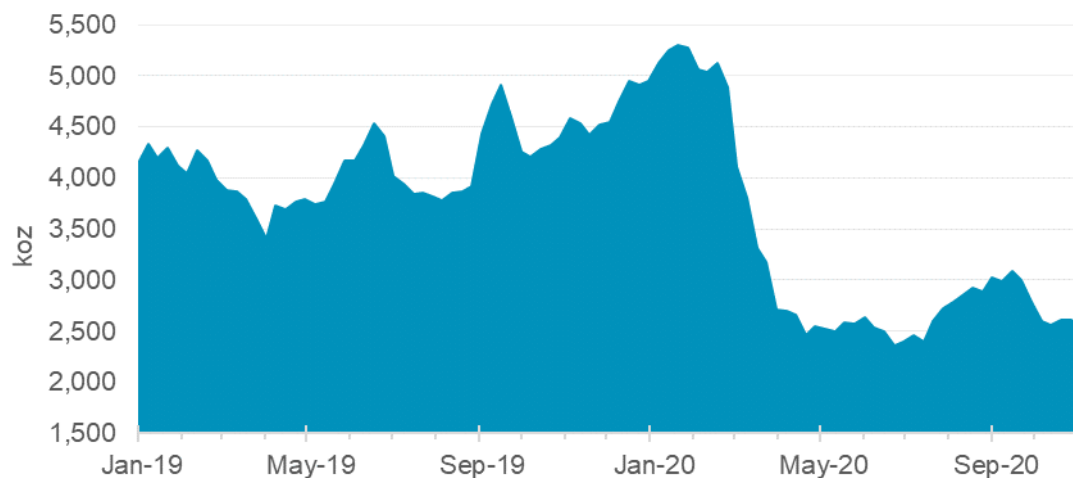
再生可能エネルギーによる電解装置計画



- グリーン水素、2020年の新たな焦点に – 70か国と欧州連合が2050年までに、中国は2060年までにカーボンニュートラル達成を宣言
- 中国は再生可能エネルギーを 2030 年までに300 GW – グリーン水素はそれを超える可能性も
- プラチナが水素経済に果たす重要な役割に多くの投資家がプラチナを投資対象に
- 短期的プラチナ投資需要も貴重な結果

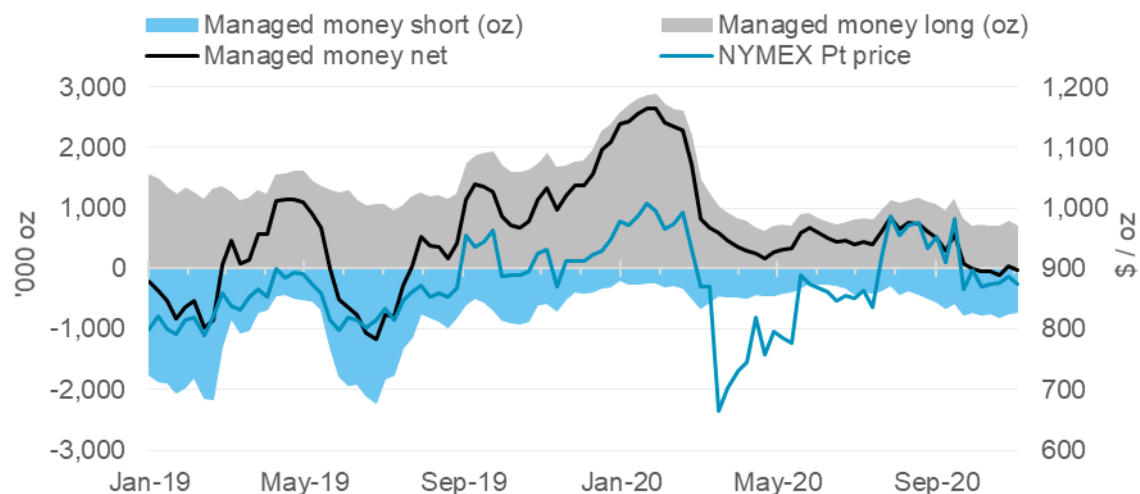
NYMEX プラチナ先物の取引混乱がプラチナの値動きを抑える結果に

3月中旬よりNYMEX 先物建玉、低迷



- 3月からのNYMEX プラチナ先物の建玉、2019年の平均より30-40%低いレベル

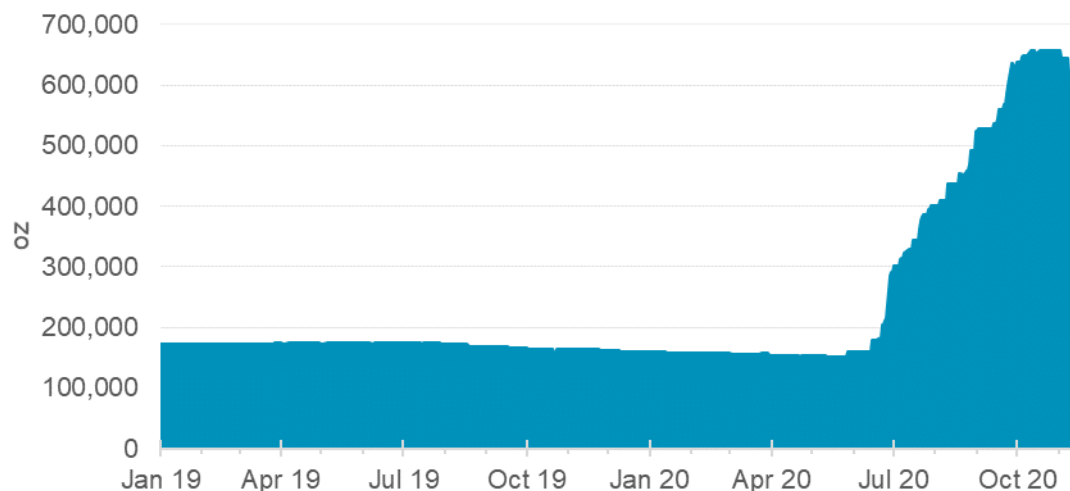
NYMEX マネーマネジャーのプラチナポジション



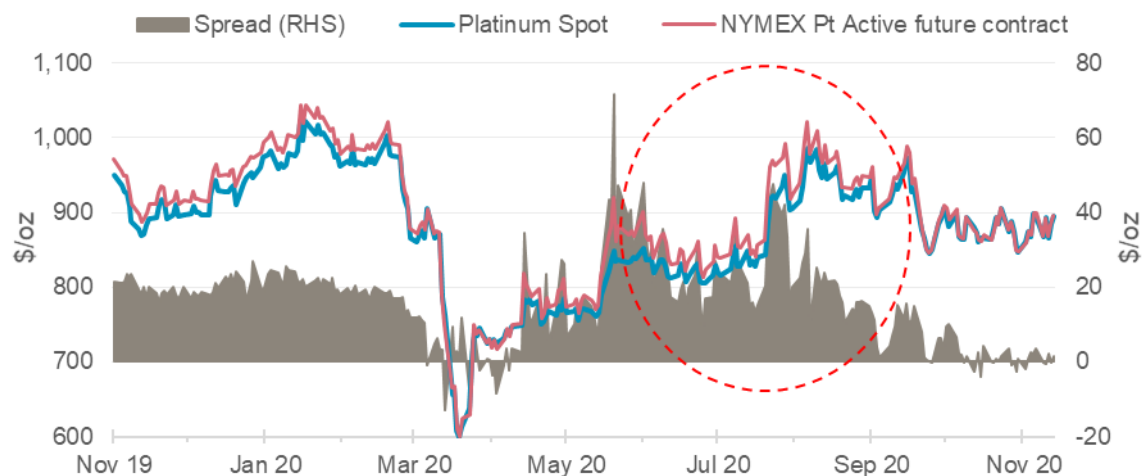
- NYMEX のファンドマネジャーポジション、従来は短期的なプラチナ価格相場の動向要因
- ファンドマネジャーポジションは2019年下半期から2020年1月、2月の期間に比べると低い

NYMEX 保有在庫、前代未聞のレベルに – マーケットへの信頼戻り、プラチナ価格には好影響

NYMEX 在庫、2020年5月以来、約15.6トン 増加



NYMEX プラチナスプレッド 8月に戻る



- NYMEXプラチナ在庫は現在18.7トン以上
- 従来の在庫は3.1トンのレベル
- NYMEX 高レベルの取引所在庫の影響:
 - マーケットメイキングが増える
 - スプレッドの正常化
 - 投資家心理の好転
 - 価格動向に健全な影響

なぜプラチナに投資？－コロナ禍で需給減少、しかし、より火急な投資の理由あり



- 2021年、プラチナは3年連続の供給不足品となるが、市場は十分意識しておらず
- 潜在的需要増、依然として高い:
 - － EU 排ガス規制罰金によるディーゼル車需要
 - － 中国の大型車需要増と厳格化する排ガス規制
 - － さらに進むプラチナのパラジウム代替
 - － プラチナ投資を牽引するゴールド
- 自動車需要の成長、代替、ゴールド、水素経済 など、さらなる投資需要を喚起

議題: プラチナ四半期レポート 2020年第3四半期、2020年最新予測、2021年予測

1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2. プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー

トレバー・レイモンド

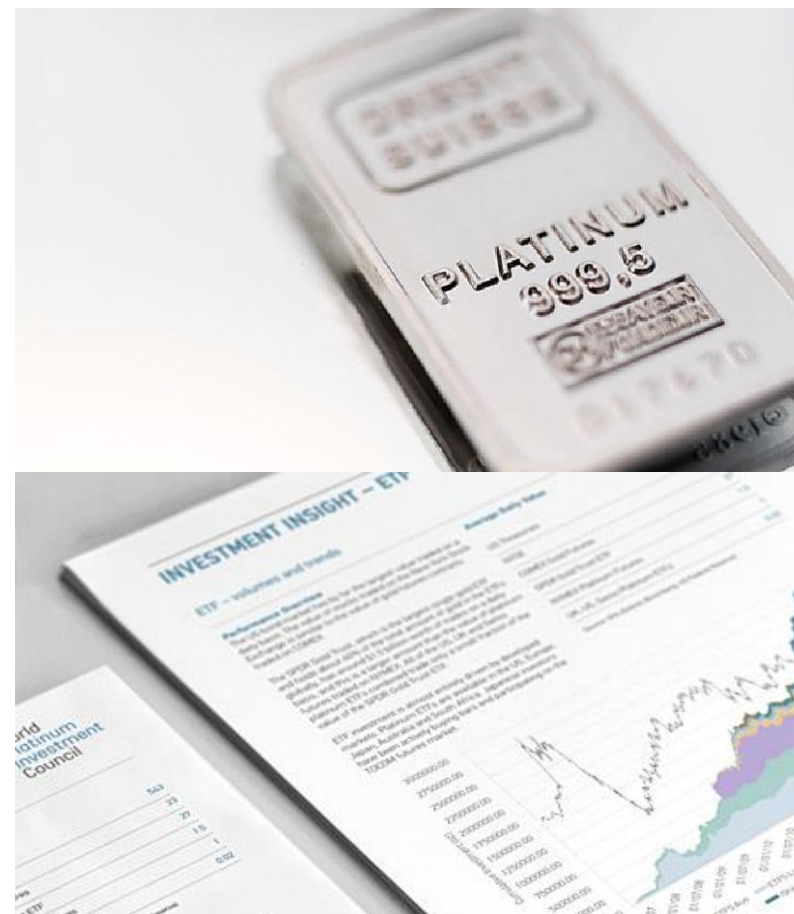
3.ファンダメンタルズの基盤

トレバー・レイモンド

4.質疑応答

ポール・ウィルソン

トレバー・レイモンド



終わり